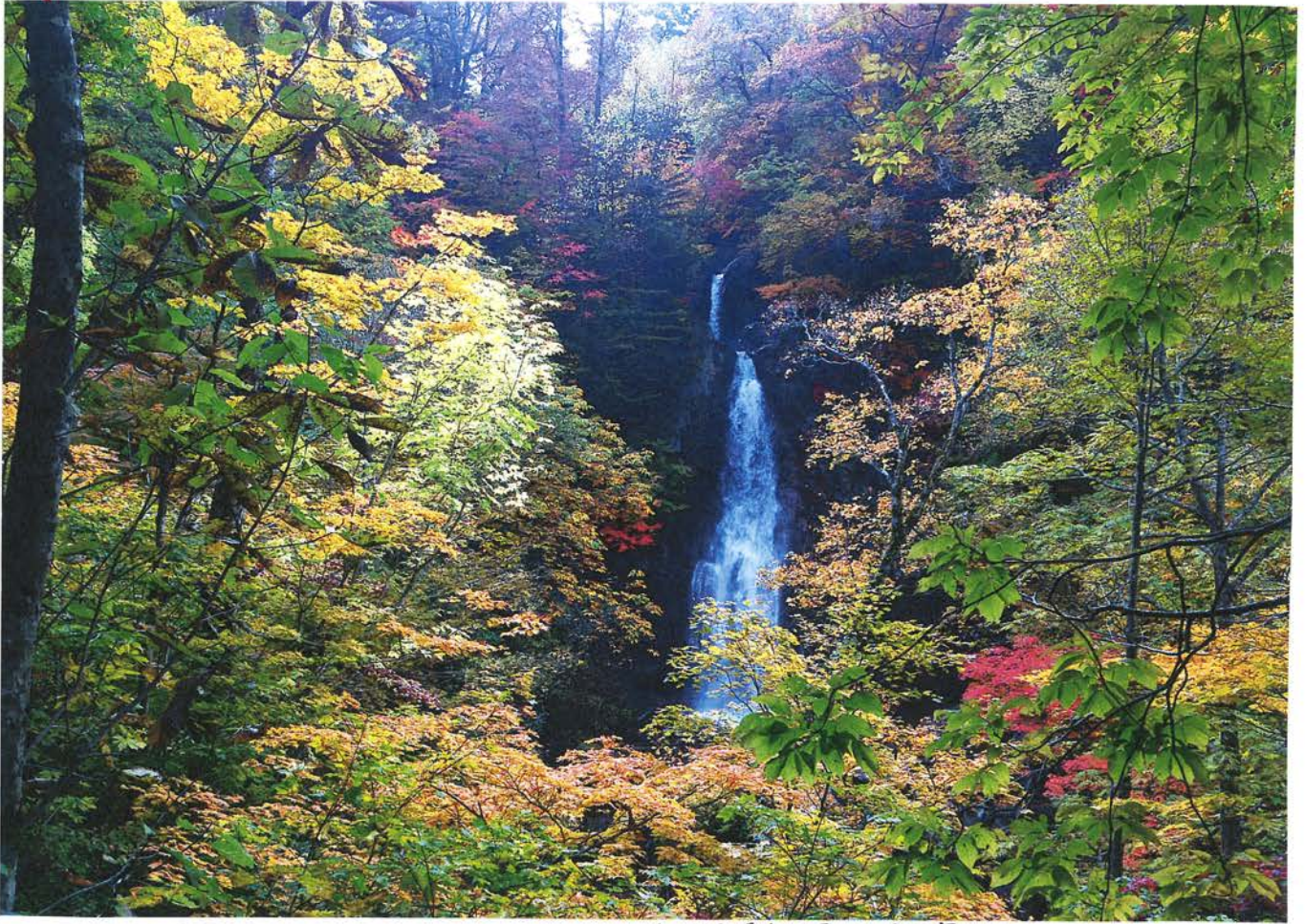


10月は...

七滝と松川溪谷の紅葉が

すてき*だったよ!



▲ 10月10日の七滝
滝壺からの高さは35mあります。

木の葉が少なくなってくると
コケの緑が鮮やかに映ります。
コケの上に落ちた紅葉
すてきでしょ ◆◆



6
七滝登山道には
落ち葉がいっぱい! カサカサ
踏みしめる音も楽しいよ♪



▲ 10月25日 松川溪谷「玄武岩」

紅葉
いろいろ

▼ クロモジの紅葉
クロモジの枝からは和菓子に添える楊子が作られます。とてもいい香りがします。



▲ コミネカエデの紅葉
高山に生えるミネカエデの、葉が少し小さいタイプです。

ハウチワカエデの紅葉
葉の形が天狗の持つ扇に似ていることから名付けられました。



大昔、岩手山の噴火で流れ出した溶岩が冷えて固まり、結晶になったものです。柱状節理と呼ばれます。松川溪谷の紅葉の名所！ホテルからは徒歩約20分。お散歩にぴったりです。



10月25日の登山道
赤や黄色や橙色
きれいだったなあ

◀ クリーム色のち枚の葉っぱは ゴシアブラの紅葉です。春は山菜として、秋は紅葉で楽しませてくれます。

▼ ガマズミ
「カエルの食べる酸っぱい実」という意味。真赤な実が映えます



◀ オオモジの紅葉
ハウチワカエデに似ていますが葉の切込みが深いのが特徴です。

▼ イタヤカエデの紅葉
葉っぱがよく繁り、板葺き屋根のように雨を防ぐことから名付けられました。



七滝への道のり



▲ 10月25日の登山道

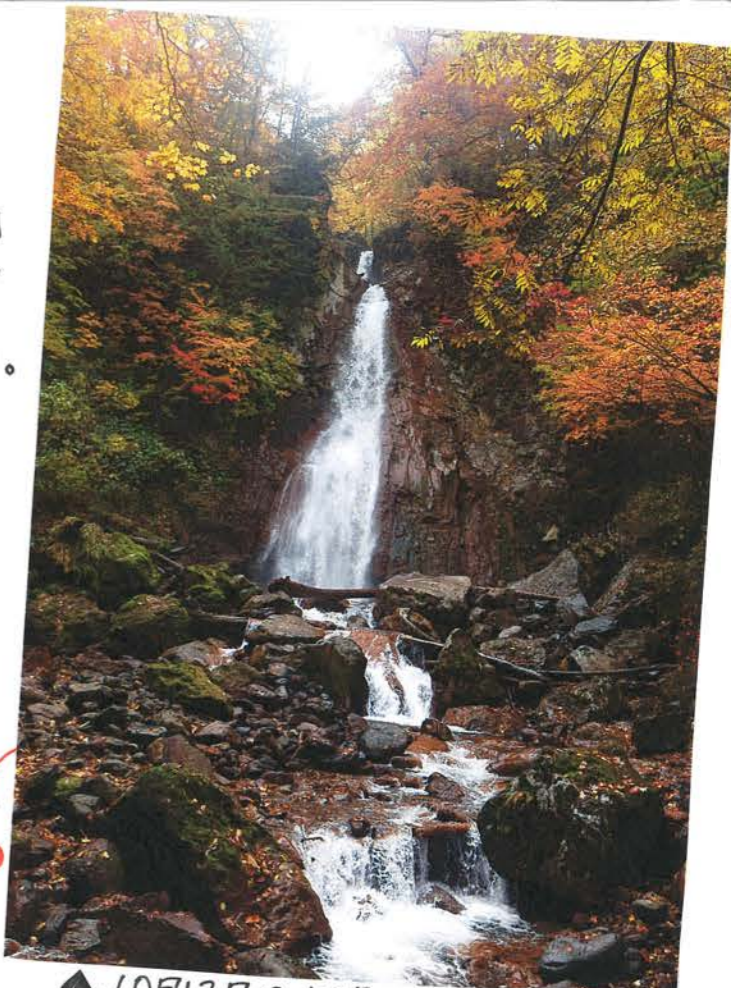
所要時間

ホテルから往復
3時間

マウンテンホテル	30分
七滝登山口	40分
野鳥観察小屋	30分
七滝	15分
七滝	25分
野鳥観察小屋	40分
七滝登山口	30分
マウンテンホテル	30分



◀「七滝不動明王」という神様です。道中の安全を守ってもらいましょう。



▲ 10月13日の七滝



紅葉の仕組み

黄色く色づく葉っぱには**カロテン** (にんじんとかかぼちゃに多い色素ですね) がたくさん含まれています。
 紅色に色づく葉っぱには**アントシアニン** (ブルーベリーに入ってる色素ですね) が含まれています。
 秋になると最低気温が8℃以下になると葉っぱで作られた糖分が幹に移動できなくなり、アントシアニンに変化して葉を色付けさせます。
 最低気温が6℃以下になると紅葉が一気に進むといわれています。
 カロテンは緑色の葉にも含まれていて、秋に光合成の働きが弱まり、緑色が減ると黄色が目立って色付いたように見えます。

林道沿いの紅葉もきれいですよ。



(▲ 10月25日)

岩手山
七滝登山口

駐車場
8台くらい停められます。

七滝までは約2.5km

ホテルから徒歩20分

松川溪谷

森の大橋からの眺望



10月13日の
 松川溪谷。まさに
 燃えるような紅葉でした。
 ←こちらは森の大橋の
 下流側。↓は上流側に
 ある砂防ダムです。
 松川の水には温泉の
 成分が含まれているので
 水の色がエメラルドグリーン
 に見えます。

松川溪谷の
 紅葉は例年
10月上旬~
20日ころまでが
 見頃です。
 見に来てね 

真赤に色づいているのは
 ウリハダカエデ、コミネカエデ、
 ハウチワカエデなどのカエデの
 仲間たち。

黄色はシラカバ、ブナ。

まだ色づいていない緑の葉は
 紅葉の遅いミズナラ。

所々に生えているアカマツの
 緑も紅葉を引立っています。

